

令和 8 年度 県立水戸特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆「わかった」「できる」を大切に「もっと学びたい」を実現できる学校 ◆互いに認め合い、一人一人が尊重される学校 ◆地域から信頼される開かれた学校児童生徒が主体的に学ぶ学校		重点項目ごとにA～Eで評価する	
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況	
【成果】 ・教育活動に係る課題について、協議・検討を進める体制を徹底したことにより、課題等に関する情報共有や課題解決に向けた協議が活性化しつつある。 ・教職員一人一人が児童生徒との関係づくりや授業づくり等のための時間を確保できるよう、担任と副担任の業務量の平準化に努めてきた。 ・毎月テーマを設定し、コンプライアンス遵守の意識の醸成を図ってきた。 ・各教科等と自立活動の密接な関連に着目して、授業改善サイクルを設定し、検討を進めてきた。 ・重度重複教育の課程に各教科を編成し、学習指導要領を踏まえた年間指導計画の作 ・見直しを行うとともに、教科指導の重要性を認識した。 【課題】 ・学校経営への参画意識の向上と会議の効率化の両立 ・開かれた学校づくりと学校運営協議会制度の一層の活用 ・業務の平準化と教職員のやりがい・働きがいの創出 ・教職員の当事者意識の醸成のためのコンプライアンス研修の充実 ・授業改善サイクルの確立と「わかった・できた・もっと学びたい」を引き出す教科指導に関する教育活動の更なる充実 ・地域資源を最大限に活用した教育活動の工夫・改善	教科の特質に応じた授業づくり	①教科の見方・考え方を働かせ、「わかった・できた・もっと学びたい」を大切に授業づくり		
		②指導と評価の一体化		
			③教科などの指導と関連した自立活動の指導の充実	
			④児童生徒が見方・考え方を働かせるための授業づくりを支える研修の推進（授業づくりサイクル）	
			⑤教科につながる自立と社会参加を支えるキャリア教育の推進	
	豊かな心づくりの充実		⑥道徳教育の実践、あいさつの励行	
			⑦いじめや不登校の早期発見・解決に向けた取組の推進	
			⑧自己肯定感と自己有用間の向上、互いを認め合える心の育成	
	社会に開かれた教育活動		⑨コミュニティスクールにおいて課題共有と地域資源を活用した教育活動の実践	
			⑩学校間交流、地域交流、居住地校交流の推進	
			⑪情報発信の充実	
	センター的機能の工夫と充実		⑫校内外における相談・支援の一層の充実と関係諸機関との連携	
	安全・安心な学校体制の強化・徹底		⑬安心して学べる環境づくり	
			⑭学校事故などの未然防止のためのヒヤリハット事例からの改善策の共有	
			⑮安全な医療的ケアの実施	
			⑯緊急時に対応した実効性のある訓練の実施	
			⑰地域や関係機関、PTA と連携した危機管理体制の充実	
	信頼される学校づくりと働き方改革の推進		⑱業務内容の見直し改善と校務DXの推進	
			⑲自分事としてとらえることのできるコンプライアンス研修の実施	
			⑳心理的安全性のある職場環境づくり	

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない